

提出先：株式会社アストジェイ
調査期日：平成28年3月31日時点
提出期限：平成29年1月10日
提出部数：1部
整理番号：-



政府統計

本調査票の記入事項に関する(注)及び\*について、別冊の「記入要領」を参照の上、記入してください。  
 本調査に関して、後ほど内容の照会をさせていただくことがあります。大変お手数ですが、  
 提出する前の本調査票はコピーの上、保管していただきますようお願いいたします。

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

## 経済産業省 情報処理実態調査 (平成28年) 情報処理実態調査票

情報処理実態調査は、①企業等におけるIT活用の実態のほか、②IT関係支出の状況、③情報セキュリティに関する対策や被害の実態を把握し、産業競争力の向上に向けたIT関連施策を立案・実施するための政府統計です。

- ◇ この調査は、統計法に基づく一般統計調査ですので、ご協力をお願いします。
- ◇ この調査票は企業(事業団体)単位になっており、事業所単位ではありませんので、調査票にはすべての支社・営業所、工場の分も含めて、本社で一括して記入してください。
- ◇ この調査には、平成27年度の自社における情報システム活用の実態について記入してください。
- ◇ この調査票中の(注)、\*については、調査項目別に別冊「記入要領」に説明が記載されています。記入にあたっては、「記入要領」個別事項の該当部分を参照してください。
- ◇ この調査は、電子メールによる提出も可能です。詳しくは記入要領をご確認下さい。

### 1 企業又は事業団体の概要 (※この調査は、事業所単位ではなく、企業単位の調査です。)

	フリガナ											
企業名又は事業団体名												
		業種コード*1		法人番号								
本社又は 本部所在地	郵便番号											
	都道府県コード*1											
作成者の所属部課名 作成者の職名及び氏名 (連絡先)		電話 ( )										

経営組織の分類	該当する番号に1つ○をつけてください。										
番号	1	2	3	4	5						
経営組織*2	株式会社 (有限会社を含む)	合資会社 合名会社 相互会社 合同会社	その他の法人*3	法人でない団体*4	学校法人*5						
資本金額又は出資金額	年間事業収入*6					※桁の記入誤りに ご注意ください。 ※百万円以下の場合、 1百万円として 記入してください。	総従業員数 (常時従業員数*7)				
十兆 兆 千億 百億 十億 億 千万 百万円	十兆 兆 千億 百億 十億 億 千万 百万円	人									

- (1) 平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月末日までの1年間）における貴社の年間事業収入は、平成26年度（前年度）と比較してどの程度増加しましたか。以下のうち、当てはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. ±5%未満（ほぼ同じ・横ばい）    | 7. -5%以上10%未満（やや減少）   |
| 2. +5%以上10%未満（やや増加）   | 8. -10%以上20%未満（減少）    |
| 3. +10%以上20%未満（増加）    | 9. -20%以上40%未満（大幅に減少） |
| 4. +20%以上40%未満（大幅に増加） | 10. -40%以上60%未満       |
| 5. +40%以上60%未満        | 11. -60%以上            |
| 6. +60%以上             | 12. わからない             |

## 2 IT活用の状況

企業の競争力の強化や製品・サービスの一層の差別化を図る上で、IT活用は欠かせないものとなっています。ここでは、IT活用に関する基本的事項として、企業戦略におけるIT活用等についてお尋ねします。

### 2-1 IT戦略の状況

- (1) 貴社におけるIT活用の重要性についてお尋ねします。貴社では経営課題の解決のためにIT活用をどの程度重要な手段として位置づけていますか。以下のうち、最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 非常に重要な解決手段である  | 3. それほど重要な解決手段ではない |
| 2. ある程度重要な解決手段である | 4. まったく重要な解決手段ではない |

- (2) 貴社では、今後、IT活用をどの程度強化していきたいとお考えですか。以下のうち、最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. 大幅に強化したい  | 3. それほど強化するつもりはない |
| 2. ある程度強化したい | 4. まだわからない        |

- (3)-1 平成28年3月末日時点又は直近の決算日において、貴社では、IT投資やIT活用に関する戦略（以下では「IT戦略」といいます。）を策定していますか。以下のうち、当てはまるものを選び、番号に○をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 策定している | 2. 策定していない |
|-----------|------------|

- (3)-2 (3)-1で「1. 策定している」と回答された方にお伺いします。貴社では、「IT戦略」の内容や計画をIR資料や自社ホームページ等を通じて自ら公表していますか。以下のうち、当てはまるものを選び、番号に○をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 公表している | 2. 公表していない |
|-----------|------------|

(4)-1 IT全体を主導する責任者は誰ですか。以下のうち、最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 経営トップ（代表取締役・社長等） | 5. 課長相当職以下         |
| 2. IT担当役員（取締役以上等）   | 6. 社外の専門家にすべて任せている |
| 3. IT担当役員（執行役員等）    | 7. 特に決まっていない       |
| 4. 部長相当職            | 8. その他             |

(4)-2 平成28年3月末日時点又は直近の決算日時点において貴社の役員にはIT担当役員がいますか。以下のうち、当てはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1. 専任の役員がいる（概ね80%以上の職務従事） | 「1」または「2」と回答された方は、(4)-3へ進んでください。 |
| 2. 兼任している役員がいる            |                                  |
| 3. CIOはいるが、役員ではない。        | 「3」または「4」と回答された方は、(5)へ進んでください。   |
| 4. CIOまたはIT担当役員はいない       |                                  |

(4)-3 (4)-2で「1. 専任の役員がいる（概ね80%以上の職務従事）」、「2. 兼任している役員がいる」と回答された方にお伺いします。貴社のIT担当役員は、IT関連業務をどの程度経験していますか。以下のうち、当てはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1. 経験がない       | 5. 20年以上          |
| 2. 5年未満        | 6. キャリアを通じてIT関連業務 |
| 3. 5年以上、10年未満  | 7. わからない          |
| 4. 10年以上、20年未満 |                   |

(5) 企業価値向上のため、先端技術（IoT、ビッグデータ、AI等）を用いた戦略的なIT活用を企画・検討する専門組織やプロジェクトチーム等を設置、もしくは専属の社員を配置していますか。以下のうち、最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- |  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 先端技術を用いた戦略的なIT活用を企画・検討する専門組織やプロジェクトチームを設置している | 2. 専属の社員を配置している |
|  | 3. 明示的には存在しない   |

(6) 貴社の経営層は、コスト削減だけではなく売上や付加価値の拡大を実現するためのIT活用（以下では「攻めのIT」といいます。）を、どの程度重視していますか。以下のうち、最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. きわめて重視している | 3. あまり重視していない  |
| 2. やや重視している   | 4. まったく重視していない |

(7) 貴社では、「攻めのIT」の実施に向けて、他企業や他業種と連携していますか（例：製造業企業がサービス業企業と連携して新事業を展開する等）。以下のうち、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください（複数回答可）。

- |                        |            |
|------------------------|------------|
| 1. 同業種の企業と連携している       | 4. 連携していない |
| 2. 業界を超えて他業種の企業と連携している | 5. わからない   |
| 3. グループ企業と連携している       |            |

(8) 貴社では、「攻めの IT」の実施に向けて、外部の専門サービス（IT 関連コンサルティング・サービス等）を利用していますか。以下のうち、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください（複数回答可）

- |                           |                     |
|---------------------------|---------------------|
| 1. IT活用の企画・計画策定のために利用している | 4. 市場動向把握のために利用している |
| 2. IT活用の導入・実行のために利用している   | 5. わからない            |
| 3. IT活用の評価のために利用している      | 6. 活用していない          |

(9) 貴社では、「攻めの IT」の実施に向けて、どのような課題を感じていますか。以下のうち、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください（複数回答可）

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 1. 経営層の理解      | 6. ノウハウの不足  |
| 2. 事業部門・従業員の理解 | 7. 費用対効果の説明 |
| 3. 体制・組織の整備    | 8. 継続性を保てない |
| 4. 人材の育成       | 9. その他（ ）   |
| 5. 予算の不足       | 10. わからない   |

(10)-1 貴社には、「攻めの IT」の企画立案に従事する要員は、全従業員のうち何割程度いますか。平成 28 年 3 月末日時点又は直近の決算日の要員割合を以下に選択してください。

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1. 1%未満     | 4. 10%以上      |
| 2. 1%～5%未満  | 5. 該当する要員はいない |
| 3. 5%～10%未満 | 6. わからない      |

(10)-2 (10)-1 で「1. 1%未満」～「4. 10%以上」と回答された方にお伺いします。貴社における「攻めの IT」の企画立案に従事する要員はどの部署に所属していますか。以下のうち、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください（複数回答可）。

- |             |         |           |
|-------------|---------|-----------|
| 1. 情報システム部門 | 3. 事業部門 | 5. その他（ ） |
| 2. 経営企画部門   | 4. 管理部門 | 6. わからない  |

(11)-1 貴社には、企画立案された「攻めの IT」の実装・実現（企画立案以降の工程）に従事する要員は全従業員のうち何割程度いますか。平成 28 年 3 月末日時点又は直近の決算日の要員割合を以下に選択してください。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 10%未満     | 5. 40%～50%未満  |
| 2. 10%～20%未満 | 6. 50%以上      |
| 3. 20%～30%未満 | 7. 該当する要員はいない |
| 4. 30%～40%未満 | 8. わからない      |

(11)-2 (11)-1 で「1. 10%未満」～「4. 50%以上」と回答された方にお伺いします。貴社における「攻めの IT」の実装・実現（企画立案以降の工程）に従事する要員はどの部署に所属していますか。以下のうち、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください（複数回答可）。

- |             |         |           |
|-------------|---------|-----------|
| 1. 情報システム部門 | 3. 事業部門 | 5. その他（ ） |
| 2. 経営企画部門   | 4. 管理部門 | 6. わからない  |

## 2-2 クラウド・コンピューティングの利用状況

- (1) 貴社では、平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月末日までの1年間）にクラウド・コンピューティングを利用するために、利用料金、カスタマイズ費用、コンサルティング費用、あるいはサポート費用など外部への支払いが発生しましたか。以下のうち、当てはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 発生した	2. 発生しなかった
---------	------------

- (2) (1)で「1. 発生した」と回答された方にお伺いします。平成27年度における貴社のクラウド・コンピューティング関連費用は、「IT関係支出総額」(p.5)のどのくらいの割合を占めますか。以下のうち、当てはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 20%未満	4. 60%～80%未満
2. 20%～40%未満	5. 80%以上
3. 40%～60%未満	6. わからない

- (3) (1)で「1. 発生した」と回答された方にお伺いします。貴社において、どのような形態のクラウド・コンピューティングを利用していますか。以下のうち、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください（複数回答可）。

1. SaaS *1	3. IaaS *3
2. PaaS *2	4. その他

- (4) すべての方にお伺いします。貴社では今後の情報システムへの取り組みに関して、クラウド・コンピューティングの導入をどのように位置づけていますか。以下のうち、当てはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. クラウド・コンピューティングしか使わない (クラウドオンリー)	3. クラウド・コンピューティングとオンプレミス*4の 利点を考慮して最適な方法を検討する
2. クラウド・コンピューティングの導入を第一に検 討する(クラウドファースト)	4. クラウド・コンピューティングは使わない
	5. わからない

\*4オンプレミスとは自社もしくは自社が管理する建物や設備内でサーバやソフトウェア等の情報システムを運用する形態をさします。

- (5) すべての方にお伺いします。クラウド・コンピューティングの導入・利用上の課題・問題点は何ですか。以下のうち、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください（複数回答可）。

1. システムの信頼性・安全性が不十分	7. トータルコスト(TCO *4)が高い
2. サービス保証などに関する契約内容が不十分	8. システム連携・データ連携するためのAPI *5が 標準化されていない
3. 自社のビジネスプロセスの変更が必要	9. 他サービスに比べてメリットが少ない
4. カスタマイズの自由度が低い	10. 必要なアプリケーションや機能が提供されていない
5. 重要データを社外に出せない	11. その他
6. 既存システムとの連携ができない	

## 2-3 IT投資の状況

- (1) 平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月末日までの1年間）における貴社のIT活用の規模（IT投資額）は、平成26年度（前年度）と比較して増加しましたか。以下のうち、当てはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- |             |          |                   |
|-------------|----------|-------------------|
| 1. 増えた      | 3. 減った   | 5. 該当するIT投資の実績はない |
| 2. 同程度（横ばい） | 4. わからない |                   |

- (2) 平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月末日までの1年間）における貴社のIT活用の規模（IT投資額）は、平成27年度と比較して増加する見込みですか。以下のうち、当てはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- |                 |          |                   |
|-----------------|----------|-------------------|
| 1. 増える見込み       | 3. 減る見込み | 5. 該当するIT投資の予定はない |
| 2. 同程度（横ばい）の見込み | 4. わからない |                   |

- (3) 貴社では、IT投資の効果に対する評価をどの時点で実施していますか。貴社の状況について、以下のうち、最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. IT投資前にのみ評価を実施している | 3. IT投資前後に評価を実施している |
| 2. IT投資後にのみ評価を実施している | 4. 実施していない          |

- (4)-1 過去3年間（平成25年度から平成27年度の間）に、貴社では、以下の「A～J」の取り組みにおいてIT投資を実施しましたか。当てはまるものをすべて選び、記号に○をつけてください（複数回答可）。
- (4)-2 (4)-1で○をつけた取り組みについて、その取り組みを主導した主な部門を1つずつ選び、番号に◎をつけ、それ以外の取り組みを実施している部門について、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。
- (4)-3 (4)-1で○をつけた取り組みについて、IT投資の効果の状況として当てはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

(4)-1で○をつけた取り組みについては、(4)-2、(4)-3も回答してください。

取り組み	(4)-1 取組 IT投資を実施した	(4)-2 取り組みを主導した主な部門 取り組みを実施している部門					(4)-3 IT投資の効果の状況				
		特に決まった 部門ではない	情報システム部門	経営企画部門	事業部門	管理部門	既に効果が出ている	これから効果が出そうである	効果が出そうにない	まだ分からない	
変革	A. 新規事業の立ち上げ*1	A	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	B. 業務プロセスやビジネスモデルの刷新*2	B	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	C. 新サービス・新製品の開発・販売*3	C	1	2	3	4	5	1	2	3	4
成長	D. 既存のサービス・製品の売上・販売の拡大*4	D	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	E. 顧客満足度の向上や新規顧客の開拓*5	E	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	F. 従業員満足度の向上や職場の活性化*6	F	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	G. 既存の業務の効率化やコスト削減の推進*7	G	1	2	3	4	5	1	2	3	4
運営	H. 既存業務の管理（会計・人事・生産等）*8	H	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	I. リスク対応やセキュリティ対策の強化*9	I	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	J. 法令などへの対応*10	J	1	2	3	4	5	1	2	3	4

## 2-4 IT要員の状況

- (1) 貴社の情報システムの企画・構築・運用・管理等に関わる要員（以下では「IT 要員」といいます。）は、社内に何名程度いますか（単なる情報システムの利用者は除きます）。平成28年3月末日時点又は直近の決算日の実人員数を以下に記入してください（注1：記入要領P.5）。

社内・外部の別	社内の雇用者数				外部の要員数*1			
	人				人			
要員の数 (平成28年3月末日時点又は直近の決算日の実人員数)								

- (2) 平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月末日までの1年間）における貴社のIT要員数は、平成27年度と比較して増加する見込みですか（注2：記入要領P.6）。以下のうち、当てはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 増える見込み	3. 減る見込み
2. 同程度（横ばい）の見込み	4. わからない

- (3) 貴社では、今後、IT要員の配置を強化する部署を考えていますか。以下のうち、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください（複数回答可）。

1. 情報システム部門	3. 事業部門	5. 考えていない
2. 経営企画部門	4. 管理部門	

- (4) 貴社では、IT要員を確保するためにどのような取組を行っていますか。以下のうち、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください（複数回答可）。

1. IT専門職としてのキャリアを前提とする新卒採用を行っている
2. IT専門職としてのキャリアを前提とする中途採用を行っている
3. IT要員強化を目的とした計画的人事ローテーションを行っている
4. その他（ )
5. 特に行っていない

- (5) 平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月末日までの1年間）において、貴社のIT要員は、一人当たり平均何時間程度の教育・研修（注3：記入要領P.6）を受講しましたか。以下のうち、当てはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 1日（約8時間）以内	3. 3日（約24時間）超、7日（約56時間）以内
2. 1日（約8時間）超、3日（約24時間）以内	4. 7日（約56時間）超
	5. わからない



### 3 IT関係支出の状況

ここでは、企業のIT活用の実態を示す基礎情報となるITに関する製品・サービスや情報システムに関する支出額をお尋ねします。本調査は全産業を調査対象とする政府統計の中で、このような市場規模を調査する唯一の統計であるため、ぜひともご回答をお願いいたします。

#### 3-1 IT関係支出の現状

(1) 平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月末日までの1年間）における貴社のIT関係支出額を、以下に項目別に入力してください（注3：記入要領P.6）。その際、百万円未満は四捨五入してください。

ご回答にあたっては、必要に応じて**経理部門や総務部門へのご確認、又は経理ご担当者様や総務ご担当者様のご回答をお願いします。**以下の支出区分による支出額を管理されていない方は、「**IT関係支出総額**」のみのご回答でも結構です。また、決算日が3月末日でない場合、貴社の会計年度での平成27年度の状況を回答してください。

支出項目			金額（円）							
			兆	千億	百億	十億	億	千万	百万	
<b>IT関係支出総額*1</b>										
ハードウェア 関連支出	コンピュータ・ 周辺機器関連支出 *2	買取額（資産増加額として 計上される支出額）*3								
		その他コンピュータ関連支出 （レンタル・リース料など）*4								
	通信機器関連支出 *5	買取額（資産増加額として 計上される支出額）*3								
		その他通信機器関連支出 （レンタル・リース料など）*4								
	その他の情報機器 関連支出*5	買取額（資産増加額として 計上される支出額）*3								
その他情報機器関連支出 （レンタル・リース料など）*4										
総額										
ソフトウェア 関連支出*7	買取額（資産増加額として計上される支出額）*3									
	パッケージソフトウェア関連支出 （内数）									
	その他ソフトウェア関連支出 （レンタル・リース料など）*8									
	総額									
サービス 関連支出	処理サービス料（SaaS、ASP 使用料等）									
	運用保守委託料									
	情報セキュリティ関連専門サービス料*9									
	その他（データ作成入力費、教育・訓練費用・外部派遣 要員人件費等）									
	総額									
その他支出総額*10										

※ 桁違いにご注意ください。

- (2) **平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月末日までの1年間）**における貴社のIT関係支出総額に占める「新規開発」、「保守開発」、「運用管理」に関する支出について、おおよその比率を記入ください。

新規開発に関する支出の比率					%
保守開発に関する支出の比率					%
運用管理に関する支出の比率					%

- (3) **平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月末日までの1年間）**における貴社の当期減価償却費（注4：記入要領P.8）について記入してください。その際、**百万円未満は四捨五入**してください。なお、決算日が3月末日でない場合、貴社の会計年度での平成27年度の状況を回答してください。

		金額（円）						
		兆	千億	百億	十億	億	千万	百万
ハード関連 当期減価償却費	コンピュータ・周辺機器の当期減価償却費							
	通信機器の当期減価償却費							
	その他の情報機器の当期減価償却費							
ソフトウェアの当期減価償却費								

※ 桁違いにご注意ください。

- (4) **平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月末日までの1年間）**における貴社のIT要員の人材育成（教育・研修）に関する支出額（注5：記入要領P.9）について記入してください。その際、**百万円未満は四捨五入**してください。なお、決算日が3月末日でない場合、貴社の会計年度での平成27年度の状況を回答してください。

	金額（円）						
	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万
IT要員の人材育成（教育・研修）に関する支出額							

※ 桁違いにご注意ください。

## 4 情報セキュリティの状況

ITの活用が進むにつれ、情報セキュリティ対策の重要性が急速に高まっています。こうした状況を踏まえて、企業における情報セキュリティ対策の状況や情報セキュリティに関する事件・事故（情報セキュリティインシデント）の状況等についてお尋ねします。

### 4-1 情報セキュリティの位置づけと実施体制

#### 4-1-1 情報セキュリティの位置づけ（注5：記入要領P.9）

- (1) 貴社の「情報セキュリティ対策」に対する認識についてお尋ねします。「情報セキュリティ対策」は、貴社の経営目標の達成にどの程度大きな影響を及ぼすと考えられますか。以下のうち、最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 経営目標の達成に不可欠である     | 4. 経営目標の達成にあまり大きな影響はない |
| 2. 経営目標の達成に重要な役割を果たす  | 5. 経営目標の達成にまったく影響がない   |
| 3. 経営目標の達成にある程度の影響がある |                        |

- (2) 平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月末日までの1年間）における貴社内の情報セキュリティに関する全体方針や情報セキュリティ対策の立案に関する責任者はどのような方ですか。以下のうち、最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- |                            |                    |
|----------------------------|--------------------|
| 1. 経営トップ（代表取締役・社長等）        | 5. 課長相当職以下         |
| 2. 情報セキュリティ担当役員（CISO *1）   | 6. 社外の専門家にすべて任せている |
| 3. IT・情報システム担当役員（CIO *2 等） | 7. 特に決まっていない       |
| 4. 部長相当職                   | 8. その他             |

#### 4-1-2 情報セキュリティ対策に関する費用と要員の状況

- (1) 平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月末日までの1年間）における貴社の情報セキュリティ対策費用（注6：記入要領P.9）は、貴社の「IT関係支出総額」（p.5）の何%に相当しますか。0.0%から100.0%までの間的小数点第2位で四捨五入した値をご記入ください。なお、決算日が3月末日でない場合、貴社の会計年度における平成27年度の値を回答してください。

IT投資額に占める情報セキュリティ対策費用の割合 (平成27年度)										%
--------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

- (2) 貴社内には、自社の情報セキュリティに関する業務を専任で担当している要員（注7：記入要領P.10）が、社内に何名程度いますか。平成28年3月末日時点又は直近の決算日の実人員数を記入してください。

情報セキュリティに関する業務の専任要員数 (平成28年3月末日時点又は直近の決算日の実人員数)										人
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

(3) 平成27年度と比べた平成28年度の貴社の情報セキュリティ対策費用（(1)）と情報セキュリティ対策のための専任要員（(2)の要員数）の増減見込みについて、以下のうち、最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

① 情報セキュリティ対策費用の増減見込み

1. 大幅に増加	3. ほぼ同じ	5. 大幅に減少
2. やや増加	4. やや減少	6. わからない

② 情報セキュリティ対策のための専任要員の増減見込み

1. 大幅に増加	3. ほぼ同じ	5. 大幅に減少
2. やや増加	4. やや減少	6. わからない

(4) 独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が実施する情報処理技術者試験「情報セキュリティスペシャリスト試験」（平成21年度以降に実施）及び「情報セキュリティアドミニストレータ試験」（平成13年度～平成20年度まで実施）の合格者が、社内には何名程度いますか。平成28年3月末日時点又は直近の決算日の実人員数を記入してください。

「情報セキュリティスペシャリスト試験」合格者数 (平成28年3月末日時点又は直近の決算日の実人員数)						人
「情報セキュリティアドミニストレータ試験」合格者数 (平成28年3月末日時点又は直近の決算日の実人員数)						人

### 4-1-3 情報セキュリティ対策に関する課題

(1) 貴社の現在の情報セキュリティ対策の水準について、どのように受け止めていますか。以下のうち、最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 必要な水準を十分満たしている	4. 必要最小限の水準を満たしていない可能性がある
2. 必要な水準をほぼ満たしている	5. 必要最小限の水準を大きく下回る可能性がある
3. 必要最小限の水準は満たしている	6. まったくわからない

(2) 貴社では、情報セキュリティ対策を実施する上で、どのような課題を感じていますか。以下のうち、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 経営層に対策の重要性が伝わらない	8. 対策の費用対効果がわからない
2. 責任者や役割分担が明確ではない	9. 情報セキュリティに関して十分なスキル・知識を持った人材が自社に不足している
3. 従業員の意識が不十分である	10. 情報漏えい等の事故が実際に起きた場合に、どう対応したらよいかがよくわからない
4. 取引先・委託先等の外部の管理が難しい	11. 社外の専門家に相談したいが、誰に相談したらよいか分からない
5. 自社にどのような対策が必要かわからない	12. その他（ ）
6. 現在導入している対策が十分かどうか分からない	13. 特に課題は感じていない
7. 対策を継続する負担（作業量等）が重い	

## 4-2 情報セキュリティ対策の状況

### 4-2-1 情報セキュリティ対策の実施状況

- (1) 平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月末日までの1年間）における貴社の情報セキュリティ対策の実施状況として、それぞれの項目について当てはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

	対策の実施状況		
	1	2	3
	実施している	検討中、または今後実施予定	現在実施しておらず、特に検討も行っていない
<b>&lt;体制・ルール面&gt;</b>			
<b>【体制の整備】</b>			
情報セキュリティに関する担当部署や担当者の決定	1	2	3
情報セキュリティ対策実施における責任者（CISO等）の任命	1	2	3
情報セキュリティインシデントに対処するためのチームあるいは窓口（CSIRT）の設置 ※CSIRT：Computer Security Incident Response Team	1	2	3
サイバー攻撃に関する情報共有活動への参加や、関係機関からの情報収集（脆弱性に関する情報・事故情報等）、入手した情報を有効活用するための環境の整備	1	2	3
<b>【対策の実施】</b>			
情報セキュリティに関する全社的な対応方針（セキュリティポリシー）の策定・社内外への宣言・公表	1	2	3
個人情報や重要情報等の社内情報資産の把握	1	2	3
社内情報資産に対するリスク分析・リスク評価の実施	1	2	3
社内情報資産に対するリスク分析・リスク評価結果を踏まえた具体策の検討・実施・見直し・改善	1	2	3
情報セキュリティに関する従業員向けの教育・研修の実施（標的型メール対応訓練等）	1	2	3
系列企業や、サプライチェーンのビジネスパートナー等の取引先における情報セキュリティ対策実施状況の確認	1	2	3
ITシステム管理の委託先における情報セキュリティ対策実施状況の確認	1	2	3
サイバー攻撃による損害等を補償するサイバー保険への加入	1	2	3
対策を実施する際のサイバーセキュリティ経営ガイドライン（経済産業省）の参照	1	2	3

## 4-2-2 情報セキュリティに関する専門サービスの利用状況

(1) 平成27年度(平成27年4月1日から平成28年3月末日までの1年間)の間に、貴社では自社の情報セキュリティ対策について、外部の専門家に相談したことはありますか。以下のうち、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください(複数回答可)。

1. ITベンダー	5. 公的機関や各種団体等の相談窓口
2. 情報セキュリティ専門ベンダー	6. その他 ( )
3. IT専門家個人 (ITコーディネータ・独立コンサルタント等)	7. 外部の専門家には相談しなかった
4. 経営支援者個人 (税理士・中小企業診断士等)	

(2) 貴社では、情報セキュリティに関する認証を取得していますか。以下のうち、貴社が取得している認証を、すべて選び、番号に○をつけてください(複数回答可)。

1. 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 認証 (ISMS/JIS Q 27001)
2. 個人情報マネジメントシステム (PMS) 認証 (JIS Q 15001) またはプライバシーマーク認定
3. 品質管理システム認証 (ISO/JIS Q 9001)
4. その他 ( )
5. わからない
6. 取得していない

(3) 平成27年度(平成27年4月1日から平成28年3月末日までの1年間)の間に、貴社では情報セキュリティに関してどのようなサービスを利用しましたか。以下のうち、当てはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

	サービス利用状況		
	1	2	3
情報セキュリティに関する専門サービスの種類	平成27年度に利用した	平成27年度の利用実績はないが、今後の利用に関心がある	平成27年度の利用実績はなく、今後の利用にも関心はない
<b>&lt;計画・診断系サービス&gt;</b>			
情報セキュリティ戦略・方針・手続等に関する策定支援	1	2	3
情報セキュリティに関する技術支援	1	2	3
情報セキュリティに関する評価・脆弱性診断	1	2	3
情報セキュリティ監査	1	2	3
情報セキュリティに関する教育・研修	1	2	3
<b>&lt;運用系サービス&gt;</b>			
情報セキュリティに関する監視・モニタリング	1	2	3
情報セキュリティインシデント・事故対応	1	2	3
情報セキュリティインシデントに関する証拠保全 (フォレンジック)	1	2	3



(2) (1)で「1」～「5」と回答した貴社の情報セキュリティインシデントについて、平成27年度における発生・検知の頻度として最も近いものをそれぞれ1つつ選び、番号に○をつけてください。

情報セキュリティインシデントの種類	発見・検知の頻度（1つだけ）				
	1	2	3	4	5
	年に数回以内	月に1～2回程度	週に1～2回程度	ほぼ毎日	わからない
a ウイルス感染	1	2	3	4	5
b 標的型攻撃メールの受信	1	2	3	4	5
c 外部から内部への不正アクセス	1	2	3	4	5
d 内部関係者による不正アクセス	1	2	3	4	5
e 不自然な大量アクセス（サイバー攻撃等）	1	2	3	4	5
f 端末や外部記憶媒体等の機器の紛失・盗難	1	2	3	4	5
g 情報漏えい・流出	1	2	3	4	5
h データの改ざん	1	2	3	4	5
i データの破壊・損失	1	2	3	4	5
j サイバー攻撃によるシステム・サービスの停止	1	2	3	4	5
k 自社を踏み台にした外部へのサイバー攻撃	1	2	3	4	5

(3)-1 平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月末日までの1年間）において、貴社では、工業用・産業用の制御システムや重要社会インフラのための制御システム（注8：記入要領P11）が稼働していましたか。以下のうち、当てはまるのを1つ選び、番号に○を付けてください。

1. 稼働していた	2. 稼働していなかった
-----------	--------------

(3)-2 (3)-1で「1. 稼働していた」と回答された方にお伺いします。平成27年度に、貴社の制御システムにて発見・検知された情報セキュリティインシデントとして、以下のうち、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください（複数回答可）。

1. 発生しなかった	8. システムの停止
2. ウイルス感染	9. システムの誤作動
3. 標的型攻撃メールの受信	10. 情報漏えい・流出
4. 外部から内部への不正アクセス	11. データの破壊・損失
5. 内部関係者による不正アクセス	12. データの改ざん
6. 不自然な大量アクセス（サイバー攻撃等）	13. その他（ ）
7. 関連する外部記憶媒体の紛失・盗難	

— ご協力いただき、誠にありがとうございました。—